

令和6年度特定健診歯科保健指導 導入事業研修会

～山元町実施状況～

実施概要

実施日	実施会場	特定健診受診者数 (40歳～75歳)	事業参加者
令和6年9月11日(水)	つばめの杜ひだまりホール	109名	32名
9月12日(木)	つばめの杜ひだまりホール	123名	27名

実施体制

- 口腔チェック：歯科医師 1 名／補助：歯科衛生士 1 名
- 歯科保健指導：歯科衛生士 2 名
- 審査票記入補助及び会場誘導：1 名
- 事業主旨説明及び会場誘導：1 名

会場図 (山元町防災拠点・山下地域交流センター「つばめの杜ひだまりホール」 3階)



※ 1階で総合受付・結核肺がん検診・胃がん検診を実施

当日の様子



歯科医師



歯科衛生士



事業に参画した理由・背景

- 令和元年度まで集団健診会場で65歳以下住民に対し、保健指導を実施していたが、健診会場の変更と共に令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策のため中止とし、住民への保健指導の機会がなくなった。

⇒少しでも保健指導の機会を持ちたい。

- 第3期山元町健康増進計画策定に当たり、実施したアンケートでオーラルフレイルの認知度が低かった（知らないと回答した方：70.9%）

実施にあたり期待した効果

- 口腔ケアの重要性を理解してほしい。
- 歯周病検診の向上につなげたい。

実施における課題

- 本町ではセット健診（特定・肺・胃・前立腺）を実施しており、胃がん検診前は歯科保健指導の対象外にしてもらう。
⇒ 胃がん検診を優先し、全員に咀嚼チェックガムは実施しなかった。
- 町内に歯科医療機関が2か所のみであるため、歯科医師や歯科衛生士の負担が大きい。
- モデル事業であったため、全ての集団健診日で実施できなかった。

次回実施時に工夫したいこと

- 広報・メール等での周知を行う。

今後の展望

- 子どものむし歯予防のため、地元歯科医師による家族への意識づけ
- 高齢化率が高いこともあり、食事や会話を楽しむ生きがいづくりにつなげたい
- 疾病の予防・早期発見のための全世代で取り組める歯科保健対策
- 働き盛り世代への歯科保健事業への取り組み
- 全身のフレイル予防、健康寿命の延伸